



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 前澤化成工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7925 URL <https://www.maezawa-k.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 淳一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 齋藤 巖 TEL 03-5962-0711  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	17,896	2.3	1,338	△7.6	1,568	△6.5	1,042	△2.8
2023年3月期第3四半期	17,491	7.9	1,448	47.9	1,677	38.4	1,072	33.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,970百万円 (82.4%) 2023年3月期第3四半期 1,080百万円 (△0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	70.31	—
2023年3月期第3四半期	72.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	47,912	39,605	82.5
2023年3月期	46,506	38,357	82.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 39,516百万円 2023年3月期 38,268百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,600	0.4	1,580	△18.8	1,820	△18.2	1,200	△17.9	80.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	15,732,000株	2023年3月期	15,732,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	892,632株	2023年3月期	909,088株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	14,830,878株	2023年3月期3Q	14,822,584株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資といった内需に弱さが残るものの、雇用や所得環境に改善の動きがみられたことで、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界的な金融引き締めの影響や中国経済の低迷に加え、不安定な海外情勢が経済の下押し要因として懸念される状況にあり、国内経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが関連する上水道・下水道業界及び住宅機器関連業界につきましては、政府による住宅取得支援策や低金利の継続が住宅購入層の需要を一定程度下支えている状況にはありますが、建築資材価格や人件費上昇による住宅価格の高騰に加え、物価の上昇、将来的な金融政策の変更に伴う住宅ローン金利の上昇懸念などから、当社業績に影響が大きい戸建て住宅の新設住宅着工戸数は前期に比べ10%に近い落ち込みで推移するなど、厳しい経営環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、「人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、社会のために幸せを創造する」という企業理念のもと、持続的な成長と発展を図るため、中期経営計画「Look Forward 2023」で掲げた3つの施策「成長ドライバーの創出」「事業基盤整備」「ESGを意識した取り組み」を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、戸建て住宅の着工戸数が減少する中、価格改定や主力製品の売上確保、重点販売品目の拡販を行ったことで売上面では前期を上回る結果となりましたが、鋳物や金属、ゴム、段ボールといった各種の原材料価格高騰の影響が大きく、利益面では前期を下回る結果となりました。

この結果、売上高は178億96百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益13億38百万円（同7.6%減）、経常利益15億68百万円（同6.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億42百万円（同2.8%減）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 管工機材

管工機材セグメントにつきましては、主力製品の売上確保やビル設備分野製品「ビニコア」の拡販を重点的に行った他、原材料価格の高騰による影響を緩和するために実施した価格改定などによって、売上高は前期を上回りました。一方利益面では、価格改定を行ったものの、主要原材料である塩ビ樹脂価格が高止まりしていることに加え、鋳物や金属、ゴム、段ボールといった原材料価格高騰の影響を補うには至らず、前期を下回る結果となりました。

以上により、売上高は163億81百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益14億4百万円（同10.3%減）となりました。

#### ② 水・環境エンジニアリング

水・環境エンジニアリングセグメントにつきましては、官需案件において、給排水衛生設備や農業用排水のポンププラント工事といった各種工事案件の受注が安定的に獲得できていることに加えて、工事の進捗も順調に推移していることから、売上は底堅く推移いたしました。一方、民需案件においては、水処理システムの工事案件での価格競争が激しく、受注・売上ともに低調に推移した結果、セグメント業績は前期を下回りました。

以上により、売上高は7億11百万円（前年同期比9.1%減）、セグメント損失76百万円（前年同期は47百万円のセグメント損失）となりました。

#### ③ 各種プラスチック成形

各種プラスチック成形セグメントにつきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が和らぐ中、受注は緩やかな回復基調にあります。国内製造業の戻りはまだまだ鈍く引き続き厳しい経営環境にあります。このような状況の中、新規案件の受注獲得活動と並行して、自社ブランド製品の販路拡大に向けた営業活動を新潟県内の企業を中心に展開してまいりました。製品の受注・売上が全体的に減少している中、新規取引先の金型受注により売上が確保できたことに加え、人員の適正化による原価低減に努めたことで、業績は前期を上回る結果となりました。

以上により、売上高は9億34百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益25百万円（同39.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ14億6百万円増加し、479億12百万円となりました。これは主として、株価上昇に伴う投資有価証券の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1億58百万円増加し、83億7百万円となりました。これは主として、投資有価証券の含み益増加に伴い繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ12億47百万円増加し、396億5百万円となりました。これは主として、投資有価証券の株価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,199	12,301
受取手形、売掛金及び契約資産	5,418	4,806
電子記録債権	4,065	4,784
有価証券	2,100	2,200
商品及び製品	2,298	2,347
仕掛品	770	805
原材料及び貯蔵品	849	907
その他	539	633
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	28,240	28,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,238	13,264
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,044	△8,300
建物及び構築物（純額）	5,193	4,963
機械装置及び運搬具	12,076	11,998
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,094	△11,170
機械装置及び運搬具（純額）	982	827
工具、器具及び備品	17,920	17,902
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,664	△17,691
工具、器具及び備品（純額）	256	211
その他	240	240
減価償却累計額及び減損損失累計額	△132	△145
その他（純額）	108	95
土地	4,353	4,353
建設仮勘定	90	144
有形固定資産合計	10,985	10,597
無形固定資産		
のれん	149	137
ソフトウェア	337	271
その他	2	82
無形固定資産合計	489	490
投資その他の資産		
投資有価証券	6,148	7,478
繰延税金資産	39	41
その他	751	667
貸倒引当金	△149	△148
投資その他の資産合計	6,790	8,038
固定資産合計	18,265	19,126
資産合計	46,506	47,912

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,953	2,869
電子記録債務	753	969
短期借入金	330	330
未払法人税等	447	164
賞与引当金	433	288
役員賞与引当金	59	33
その他	2,153	2,192
流動負債合計	7,130	6,848
固定負債		
長期借入金	60	60
繰延税金負債	262	726
役員株式給付引当金	50	47
役員退職慰労引当金	154	154
退職給付に係る負債	35	37
資産除去債務	224	226
その他	230	205
固定負債合計	1,018	1,458
負債合計	8,148	8,307
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,368
利益剰余金	27,925	28,221
自己株式	△1,034	△1,014
株主資本合計	36,642	36,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,543	2,464
退職給付に係る調整累計額	82	88
その他の包括利益累計額合計	1,625	2,553
非支配株主持分	88	88
純資産合計	38,357	39,605
負債純資産合計	46,506	47,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	17,491	17,896
売上原価	11,205	11,676
売上総利益	6,286	6,220
販売費及び一般管理費	4,837	4,881
営業利益	1,448	1,338
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	110	123
受取賃貸料	67	69
貸倒引当金戻入額	0	1
その他	55	38
営業外収益合計	241	242
営業外費用		
支払利息	4	4
賃貸費用	7	7
その他	0	1
営業外費用合計	12	13
経常利益	1,677	1,568
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	1	11
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	10	3
減損損失	—	0
リース解約損	2	2
本社移転費用	26	—
その他	2	—
特別損失合計	43	6
税金等調整前四半期純利益	1,635	1,573
法人税、住民税及び事業税	474	475
法人税等調整額	87	55
法人税等合計	562	531
四半期純利益	1,073	1,042
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,072	1,042



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,073	1,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	921
退職給付に係る調整額	6	6
その他の包括利益合計	7	928
四半期包括利益	1,080	1,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,080	1,970
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	管工機材	水・環境エンジニアリング	各種プラスチック成形	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
一時点で移転される財	15,916	347	792	17,056	—	17,056
一定の期間にわたり移転される財	—	435	—	435	—	435
顧客との契約から生じる収益	15,916	782	792	17,491	—	17,491
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,916	782	792	17,491	—	17,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	—	110	125	△125	—
計	15,930	782	903	17,616	△125	17,491
セグメント利益又は損失(△)	1,565	△47	18	1,536	△87	1,448

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水・環境エンジニアリング」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に常陽水道工業株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては153百万円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	管工機材	水・環境エンジニアリング	各種プラスチック成形	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
一時点で移転される財	16,368	419	816	17,604	—	17,604
一定の期間にわたり移転される財	—	292	—	292	—	292
顧客との契約から生じる収益	16,368	711	816	17,896	—	17,896
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,368	711	816	17,896	—	17,896
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	—	118	130	△130	—
計	16,381	711	934	18,027	△130	17,896
セグメント利益又は損失(△)	1,404	△76	25	1,352	△13	1,338

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。